

東京都聴覚障害者連盟 2021年度事業計画（案）

（１）聴覚障害者の生活問題に関する相談及び指導事業

イ、相談事業（自立支援センター担当除く）

毎週土曜日の午後（第5土曜は休み）東京都障害者福祉会館の相談員（ろう者担当）を推薦する。

2021年度は以下の通りに高齢、女性、地域、ろう運動などの相談がしやすいよう担当を配置。

毎週土曜日（第5土曜除く）

担当：三原恭明、唯藤節子、平井伸治、越智大輔

その他、月1回、就労継続支援事業B型施設「かがやき夢工場」の通所者相談事業に相談員を派遣する。

ロ、会長会議（組織部）

年3回の会長会議を開催し、地域協会と連盟役員会の意思統一を行い、会員拡大や連盟改革について話し合う。

①実施日 5月30日（日） 会場 渋谷区リフレッシュ氷川

地域協会と連盟役員会の意思統一を行い、会員拡大や連盟改革について話し合う。また、地域の施策についても議論を行う。（併催 課題対策会議）

②実施日 6月27日（土） 会場 渋谷区

第一回と同様。

③実施日 2022年1月30日（日） 会場 未定（市部予定）

第一回と同様。

ハ、全国ろうあ者大会（全日評議員会）報告会（組織部）

栃木県で開催される第68回全国ろうあ者大会は中止になったので、分散開催予定の（一財）全日本ろうあ連盟評議員会のみ出席した役員から内容を報告し、地域協会役員に全国のろうあ運動の状況を把握してもらう。

実施日 6月27日（土） 会場 渋谷区（会長会議併催）

ニ、聴覚障害者相談員・自立支援協議会委員研修会（福祉対策部）

都内の身体障害者相談員（聴覚障害者）、ピアカウンセラー担当、障害者自立支援協議会委員、福祉対策担当等を対象に、相談事業について必要なことを学び、障害者総合支援法、障害者差別解消法等と相談支援事業との関わりについて学ぶ。

実施日 2022年2月26日（土） 会場 渋谷区

ホ、区市リーダー学習会（組織部）

各地域協会の新人役員等を招集してろう運動の基礎を学ぶとともに全日本ろうあ連盟や関東ろう連盟などの組織を学ぶ。

実施日 2022年1月30日（日） 会場 未定（市部予定）

(2) 聴覚障害者の福祉・手話等に関する研究調査事業

イ、手話の研究と指導（手話対策プロジェクト委員会）

手話研究者、手話通訳者、手話講習会運営者、福祉関係者等、各分野で活躍中の専門家にて構成された委員会で、都内の手話に関する諸問題の解決のための研究及び指導、出版事業の推進を行なう。

ロ、区市町村における聴覚障害者の社会資源調査（福祉対策部）

聴覚障害者の社会資源の調査や課題などを把握し、地域聴覚障害者施策の参考とするため、地域行政を対象に調査を実施する。（障害者福祉計画や都障害者差別解消条例の影響、電話リレーサービス等）

実施日 4月1日～2022年3月31日

ハ、課題対策会議（本部他専門部）

各部におけるそれぞれの課題を整理して、連盟役員や各区市協会会長及び担当者に状況を把握してもらう。情報提供および意見交換を実施して各区市協会の底上げになるよう各部による会議を行う。

①第1回目の課題対策会議は情報交換や意見交換を主に行う。

実施日 5月30日（日） 会場 渋谷区リフレッシュ氷川

- ・福祉対策担当会議（コロナ禍におけるろう者への支援）
- ・手話対策担当会議（コロナ禍における手話指導）
- ・事業担当者会議（コロナ禍における事業の実施）

地域協会の担当部長もしくは担当者に集まってもらい、幅広い情報交換、建設的な会議を午前中に行い、午後の会長会議で報告して課題や状況の共有化を図る。

②第2回目の課題対策会議はセミナーを主に行う。

各部のセミナーを通して次年度の活動の目標を立てられるよう学んでもらう。

実施日 11月20日（土） 会場 渋谷区

- ・福祉対策部担当（福祉事業の知識と実践）
- ・その他（必要に応じて決定）

(3) 聴覚障害者の文化教養・教育向上に関する事業

イ、聴覚障害者教養講座（都教育委員会：青年部・高齢部・女性部）

都内在住、在勤の聴覚障害者を対象に日常生活の様々な知識を学ぶ。

夜の部（青年部・女性部担当）と昼の部（高齢部担当）に分けて実施し、女性教室の内容も組み入れる。

参加者が減少してきているので、内容の充実とともに、呼びかけやPR方法を工夫していく。※コロナウイルス感染拡大状況によって変更あり

実施回数：各9回、うち合同企画1回（合計17回）

実施場所：東京都障害者福祉会館他

ロ、聴覚障害者文章教室（都教育委員会：事務局）

東京都教育委員会よりの委託事業。

都内在住・在勤の聴覚障害者を対象に日常的な国語力、文章力を身につけることを目的として行う。夜の部を5月～9月、昼の部を9月～翌年2月に分けて通年開催する。※コロナウイルス感染拡大状況によって変更あり

講師陣と内容、指導方法について十分に打ち合わせ、さらに内容を充実させていくとともに、新たな講師の選定を進めていく。

講師：倉方厚子、早瀬憲太郎、越智大輔（他、臨時講師依頼予定）

会場：東京都障害者福祉会館

ハ、第41回東聴連杯将棋大会兼オープン大会（事業部）

将棋競技会を通して将棋の楽しみや、技術研磨を行い、関東・全国将棋大会の出場を推進する。

実施日 9月26日（日） 会場 東京都障害者福祉会館

二、文化講座（事業部）

都内の聴覚障害者をはじめ、関心を持つ一般都民を対象に日常生活に関する文化的な内容と知識を学び合い、聴覚障害者の文化向上を図る。

実施日 2022年2月5日（土） 会場 渋谷区

ホ、時事セミナー（広報部）

時事問題などの社会的問題から事例を取り上げて、問題点を討論し教養を高めることを目的として開催する。今回は国土地理院による講座「災害に備えるための地図とその活用」を予定。

実施日 10月16日（土） 会場 渋谷区

ヘ、高齢部新年会「新春のつどい」（高齢部）

今年は延期されたオリパラ期間ということもあり、「納涼会」を休止し、新年会のみ開催する。高齢会員同士の親睦を深めることを目的とし、新年の初めにつどい、挨拶をかわし、余興を楽しみ交流する。

新年会 2022年1月17日（月） 場所 東京都障害者福祉会館

ト、社会見学・定例会・学習会（女性部）

文化教養など知識を高め、体験学習などを行い、親睦をはかる。

定例会 ① 9月22日（木） 内容 社会見学

会場 未定

工場の仕組みなど、普段知ることができない非日常なところを見られる良い機会を作る。関心を持って、知識を増やし、実際に体験できたりする企画をたてる。

② 11月11日（木） 内容 ミステリーバスツアー

場所 未定

目的地や内容については事前に明かさず、当日まで期待感を持って楽しんでいただく企画。貸し切りバスを使用し、コロナ対応や安全

面に関しても、保険を付けるなど注意を払う。

- ③ 2022年2月16日(水) 内容 体験講座
場所 未定

いろんな体験にチャレンジする企画。コロナ感染状況により内容を決定する。

チ、新年会（女性部）

年初めのあいさつや親交を深め、余興等の趣向を楽しむ。

実施日 2022年1月10日（月・祝）

会 場 渋谷区

リ、青年部講演会&交流会（青年部）

討論会

実施日 4月10日（土） 場所 東京都障害者福祉会館

講演会

①実施日 6月26日（土） 場所 渋谷区

②実施日 10月31日（日） 場所 東京都障害者福祉会館

忘年会

実施日 12月12日（日） 場所 東京都障害者福祉会館

ヌ、第23回ろう教育フォーラムin東京（教育労働対策部）

ろう児・難聴児の教育に関して、2020年度のろう教育の実情と課題を学び、東京都のろう教育の将来について考え、情報提供を行うことを目的に都内の教育関係者とともに実施する。

実施日 2022年2月27日（日）

会 場 市部予定

ル、第14回聴覚障害者切手研究会切手展（事業部・切手研究会）

聴覚障害者による各分野の切手展示を行い、全体の切手数は約1万点の予定。

聴覚障害者が各分野で活躍した歴史的な資料展示や研究会メンバーの力作を展示し、聴覚障害者の理解啓発も行う。

実施日 2022年3月19日（土）～20日（日）

会 場 切手の博物館（豊島区）

ヲ、日帰りor一泊旅行(高齢部・変更)

高齢会員同士の親睦を深めつつ観光を楽しむことを目的とする。

実施日 10月21日(木) 場所 秋川峡谷

ワ、高齢者サロン(高齢部)

ブロックごとの高齢者のサロンを開催し、地域聴覚障害高齢者の交流を通して、生活上の困りごと、特に一人暮らしの高齢者に多い「孤独死」の防止にはどのような支援が必要かなどの情報交換を行う。「健康出前講座」等も検討。

実施日 未定（コロナ収束後）

会 場 未定（ブロック）

カ、労働セミナー(教育労働対策部)

ろう者の勤労者・就労活動中の方に向けて、労働に関する身近な問題をテーマに、より良い職場環境づくり、定着率の向上・早期離職の予防などに役立つ知識を提供、情報交換を行う。

実施日 9月26日(土) 会場 市部予定

コ、青年部研修旅行in韓国(青年部)

実施日 未定(秋～冬) 場所 韓国

ク、青年部50周年記念式典(青年部・新規)

実施日 10月23日(土) 会場 未定

ク、社会見学&野外交流(高齢部・新規)

高齢会員同士の親睦を深めつつ見聞を深めることを目的とする。

実施日 6月24日(木) 場所 未定

ク、高齢部特別講演(高齢部・新規)

テーマを決め、講師を招き知識を深めることを目的とする。

実施日 10月11日(祝) 場所 東京都障害者福祉会館

(4) 聴覚障害者の保健体育振興事業

イ、第45回東京都聴覚障害者軟式野球大会(体育部)

区市協会を原則とした地域別チームによるトーナメント戦を行う。

優勝チームは東京代表として6月の関東地区ろうあ者体育大会に出場。

実施日 4月4日(日)、11日(日)、予備日18日(日)

会場 大井埠頭スポーツ公園野球場(品川区)

ロ、第33回東京都聴覚障害者ゲートボール大会(高齢部・体育部)

都内聴覚障害者のスポーツ企画として実施する。優勝チーム、準優勝チームが5月に開催される関東地区ろうあ者体育大会に出場する。高齢部と体育部の合同事業。

実施日 4月9日(土) 会場 練馬区

ハ、第27回東京都ろうあ高齢者ゲートボール交流大会(高齢部)

聴覚障害高齢者の方々にスポーツと交流の場を提供し、楽しみながら健康増進をはかり親睦を深めることを目的として開催する。

実施日 10月29日(金) 会場 市部 or 練馬区

ニ、第45回東京都聴覚障害者卓球大会(体育部)

卓球を通して、健康増進を図り、親睦を深めることを目的として開催する。

実施日 未定(秋頃) 会場 北区

ホ、第8回東京都高齢聴覚障害者グラウンド・ゴルフ大会(高齢部)

聴覚障害高齢者の方々にスポーツと交流の場を提供し、楽しみながら健康増進をはかり親睦を深める。

実施日 5月19日（水） 会場 江東区

へ、東京都聴覚障害者グラウンド・ゴルフ秋の交流大会（高齢部）

聴覚障害高齢者の方々にスポーツと交流の場を提供し、楽しみながら健康増進をはかり親睦を深めることを目的として開催する。

実施日 11月10日（水） 会場 日野市

（５）聴覚障害者に関する社会啓発及び普及宣伝事業

イ、第67回東京都聴覚障害者大会（実行委員会・事業部）

オリンピック・パラリンピックが今年に延期されたため、地域主管でなく、「課題対策会議」の夜に懇親会として開催する。

内 容 祝賀会

実施日 11月7日（日）又は21日（日）

会 場 未定（みみカレッジ、課題対策会議会場かその近く）

ロ、第51回耳の日記念文化祭（実行委員会・事業部）

3月3日は「耳の日」であり、この日を記念し、聴覚障害者問題を社会に理解を求める啓発と聴覚障害者の文化的発展を目指し、記念講演、福祉機器や加盟・関係団体活動状況の展示等を、全都的聴覚障害者関係団体の協力を得て開催する。

※東京マラソンの状況によっては日程、会場の変更も検討。

実施日 2022年3月5日（土）～6日（日）

会 場 東京都障害者福祉会館 他

ハ、第23回自立支援センターまつり（実行委員会・事業部、福祉対策部）

自立支援センターの啓発の他、福祉セミナーや福祉関係の企画を取り入れて、聴覚障害者やセンターについて広く知っていただくためのイベントとして開催する。

実施日 7月17日（土）

会 場 自立支援センター、渋谷区リフレッシュ氷川

二、対都福祉懇談会（福祉対策部・事務局）

東京都の福祉行政関係者及び都議会議員と、聴覚障害者福祉問題と次年度都予算要求に関する懇談会を行う。

福祉行政関係者 7月9日（金） 会場 都庁

都議会関係 8月～9月各党のヒアリングにて実施

ホ、第36回敬老のつどい（実行委員会・事業部）

都内聴覚障害高齢者の敬老を祝して、楽しめる企画を実施し、70歳以上の高齢者に記念品を贈呈する。健康相談コーナーなども設け、高齢者の健康増進も図る。

実施日 9月11日（土） 会場 渋谷区リフレッシュ氷川（予定）

へ、東京都ろうあ女性のつどい（女性部）

オリンピック・パラリンピックの影響を考慮して休止する。

ト、インターネットサーバー設置によるネットワーク構築（事務局）

固定IPアドレスと独自ドメイン取得と、独自のサーバーにより、HP（ホームページ）、ML（メーリングリスト）、MM（メールマガジン）で幅広い情報提供を行う。災害に備えてサーバーを別所にレンタルで設置し安定性を高め、2021年度にホームページのレイアウトも変更して情報発信情報発信の精度を高めた。

インターネットホームページ <http://www.tfd.deaf.tokyo>

（1）Eメールアドレス

傘下団体公式アドレス配布。deaf.to から deaf.tokyo に移行。

（2）ホームページ

傘下団体ホームページの提供、開設サポート

（3）ML（メーリングリスト）

会員、役員、委員会のMLを必要に応じて作成

（4）MM（メールマガジン）

区市協会宛に通知や事務連絡などの情報を発信

（6）手話の普及・啓発・指導及び手話通訳者等の養成・派遣事業

イ、手話セミナーオンライン（手話対策部）

手話の普及・啓発を目的に一般都民（手話学習者や手話関係者含む）に呼びかけ、手話に関する講演等により、知識を高め、聴覚障害者への理解を深めることを目的として開催する。

実施日 7月11日（日）会場 渋谷区（オンライン発信）

ロ、手話講習会指導者研修会（手話対策部）

地域の手話講習会講師、助手、運営委員など関係者を対象として年に1回開催。午前はコロナウイルス禍での手話講習会の取り組み、午後からオンライン導入などによる分科会で各地域の手話講習会に関する課題などを討論・情報交換する。

実施日 6月26日（土）会場 渋谷区

ハ、参政権にかかわる手話通訳の派遣（事務局・福祉対策部）

東京都手話通訳派遣協会の派遣、斡旋対象外である選挙に関わる手話通訳を本連盟賛助会員等の協力を得て派遣・斡旋する。

ニ、外部手話講習会講師派遣（事務局）

手話が社会に広まるにつれて、企業や専門学校で手話講座や講習会が開催されるようになっている。手話の普及促進のために聴覚障害者と通訳（助手）のペアで、職員を中心に対応していく。

ホ、日本語検定（手話対策部）

手話指導に必要な日本語の力を高めるため、情報保障を行った日本語検定で聴覚障害者が受験できる環境を作り、聞こえなくても受験できるようにする。

実施日 11月13日(土) 会場 渋谷区

へ、手話通訳者・手話支援者養成(事務局)

自立支援センターにおいて、手話の社会的普及と手話通訳者の養成を目的として、手話講座を適宜開催する。コロナ禍において習得したオンライン講座のスキルを活用し引き続きオンライン講座も実施する。

上級手話講習会：地域などで手話を学び、さらに理解を深めたい手話学習者に対し、聴覚障害当事者から手話を学ぶ機会を提供する講座(全6クラス)。

期 間 2021年4月～2022年3月(全24回)

素晴らしい手話の世界への招待：手話の世界で活躍するろう者を講師に招き、講師の様々な経験や魅力的な手話にふれる機会を提供する講座(各期6クラス)。

期 間 2021年5月～2021年9月(全10～15回)

2021年10月～2022年3月(全10～15回)

ろう運動活動者による体験講座：「駅伝コース」

2021年10月～2022年3月(全10～15回)

会 場 いずれも自立支援センター2階多目的集会室(一部別会場)

ト、手話指導教材製作頒布(手話対策プロジェクト委員会・事務局)

地域の手話講習会の指導用テキスト「手にことばを」を編纂、発行し、手話通訳者の養成、手話の普及のために使用する。

「手にことばを」初級 頒価1650円

中級 頒価1320円

上級 頒価1650円

「東京のろう運動と福祉」頒価1650円(講習会学習資料集)

「東京のろう運動と福祉DVD」頒価1650円(新作)

「東京の路線駅名手話」頒価1650円(単語集)

注：売上げは公益事業収入。テキスト以外の書籍売上げは収益事業収入。

国名手話の本作成準備中。

チ、第36回東京都手話通訳問題研究会(手話対策部・東通研)

東京都手話通訳問題研究会(東通研)が開催してきた事業を、手話対策部と共催して開催する。

実施日 2022年2月予定 会場 渋谷区

(7) 機関紙などの出版物の刊行及び情報・資料の頒布事業

イ、東京都聴覚障害新聞の発行(広報部)

都内の聴覚障害者と関係者に対する情報の提供及び理解啓発を目的として毎月発行する。

福祉関係施設、関係団体等にも配布する。

A4版16頁～20頁 毎月1回5日2, 200部発行

(8) 聴覚障害者の防災及び災害時の支援・情報提供事業

イ、災害対策会議（災害対策部）

49 区市協会の総合的な災害対策について各区市協会の担当を集めて、緊急体制作り、審議、情報交換、情報提供を行う。また全通研東京支部と協力し合って緊急手話通訳手配、ボランティア手配など、体制、手段などを研究して東京都の聴覚障害者の災害時における情報保障、救急救命などに役立てる。

実施日 2021 年 7 月 3 日（土） 会場 渋谷区

ロ、第 15 回災害対策学習会（災害対策部）

聴覚障害者の災害対策について、情報提供し、防災の最新情報を学ぶ場として実施する。区市協会の担当だけでなく、関係団体・サークル等の災害担当や関心を持つ一般都民も参加対象とする。

実施日 2022 年 2 月 26 日（土） 会場 渋谷区

ハ、東日本大震災研修ツアー（災害対策部・新規）

東日本大震災から 10 年が経ち、風化させないことや現在の状況を把握するため実施する。

実施日 11 月 13 日（土）～ 15 日（月） 場所 岩手、宮城

(9) その他目的達成のために必要と認められる事業

公益社団法人本部や自立支援センターの実施する事業を必要に応じて、共に開催する。

(補足) 定期評議員会・総会、専門委員会、クラブ

◎ 2021 年度評議員会（事務局）

評議員会は区市協会選出評議員による審議機関、最高決議機関。ほかに総会（公益社団法人社員総会）があり、別途開催する。

原則として年 2 回開催するが、役員改選の年度は 3 回開催する。

第 1 回 5 月 23 日（日） 会場 渋谷区リフレッシュ氷川

議題 事業報告・決算報告 等

臨時 10 月 17 日（日） 会場 渋谷区

議題 役員改選 等

第 2 回 2022 年 3 月 20 日（日） 会場 渋谷区

議題 事業計画・予算案、要望 等

◎専門委員会等

1. 東京都聴覚障害者福祉対策会議（都内関係団体）
2. 総務委員会（総務担当副会長、財務部長、事務局長、担当職員・事務局員）
3. 手話対策プロジェクト委員会（出版業務も担当）
4. 災害対策委員会（当連盟・東通研災害班）
5. たましろの郷後援会（都内関係団体）
6. 聴覚障害者相談支援事業ネットワーク（都内関係施設）
7. 東京のろう教育を考える会（都内関係団体・個人）＝再開

※全国統一試験検討委員会（当連盟・東通研）は手話通訳派遣センターへ移管

※参政権保障委員会は福祉対策会議に組み込み

◎文化クラブ

1. 和太鼓クラブ（鼓友会）
2. 将棋クラブ（龍王会）
3. 切手研究会
4. デフ着付け結びの会

◎体育クラブ

1. 野球部（選抜チーム）
 2. 陸上部
 3. バレーボール部
 4. 卓球部
 5. テニス部
 6. ボウリング部
 7. ゲートボール部
 8. サッカー部
 9. スキー部（競技・デモ）
 10. バドミントン部
 11. ソフトボール部
- （休部）バスケット部、ソフトバレー部

※日程及び会場は予定であり、変更もあります。